

のうがukai

「なごやか農楽会」だより

75号

2023年8月（秋）号



ブドウの摘果と袋がけ研修（東谷山フルーツパーク）

なごやか農楽会からのお知らせ

～ 12月2日（土）開催の研修案内～

～ 会費未納の方 農楽会会費振込のお願い ～

援農作業予定 （9～11月）

援農作業実績 （5～7月）

農家さん紹介 / あいちの伝統野菜など

なごやか農楽会からのお知らせ

なごやか農楽会 本年度の研修会の報告
及び12月2日開催の研修会のご案内

本年度の研修会は、総会での案内のように4回行う予定です。第1回目として6月10日（土）東谷山フルーツパークを会場にして「ブドウの摘果と袋掛け」の実習を18名の参加で行いました。（講師 東谷山フルーツパーク 松山様）次回は12月2日（土）午前・午後の2講座行います。詳細は次ページを参照ください。

なごやか農楽会からのお知らせ

評議会報告

12月2日（土）開催の研修案内

12月2日の研修は、午前・午後の2部 内容・場所を変えて行われます。

午前の部 10時～12時
内容 農家の野菜作り
場所 農業センター講習室
講師 菅原眞治氏

定員 25名

午後の部 13時30分～15時
内容 梅の剪定
場所 天白区梅畑 天白区池場町4丁目
(正確な場所は参加者にはお知らせします)
駐車場ないため、公共交通金を利用願います
講師：阪野正一氏
定員 25名

申込方法

申し込み期日 10月31日
申し込み先 佐藤 農楽会事務局長宛 メール
もしくは電話で
メール : se-satoh@k7.dion.ne.jp
電話 090-4255-4217

記載(連絡)事項 12/2研修会参加
講座：農家の野菜作り・梅の剪定(参加講座に○)
修了期：
お名前：
支部名：
メール：
電話番号：
定員を超える申し込みがあった場合は、事務局にて調整します。

次回来年の1月以降に、「(仮)名古屋の農業の現状」の研修会が開催の予定です。

未払いの会費の振込につきまして

今年度の会費(1,000円)の未払の方は、振込み(ゆうちょ銀行(振替))をお願いいたします。
ゆうちょダイレクト(インターネットバンキング)・ゆうちょ銀行口座からのATMでの振替が振込費用が安くできます。
ゆうちょ銀行口座から振替も利用できます。なるべく早めをお願いいたします。

なお、ゆうちょ銀行の自分の口座以外からの振替の場合振込人名かわかるようにご依頼人名欄になごやか農楽会会員のお名前を忘れずにご記入下さい。
振込(振替)先等は次のとおりです。

振込先：ゆうちょ銀行(記号12100)記号・番号の場合
口座名：なごやか農楽会
種類：普通預金口座(番号68446931)
(他銀行からは、店番218—普通預金6844693)

報告・審議・検討事項の概要

5月度会議(5月13日(土)開催)

- ・第22期総会の反省 参加者91名、参加率44.4%。通常50%程度の参加、いつもと違う場所での開催ということでしたが、例年通りの参加数。総会の進行について、新役員選出後進行係の変更がされなかった。再度会則を確認し、進行がスムーズにできるよう準備することとする。
- ・2023年度評議会担務について 配布資料のとおり内容を確認した。
- ・2023年度評議会(事務局)活動予定について来年度総会予定日を2024.4.21に修正。他は配布資料のとおり内容を確認した
- ・「2mほどの脚立を使う作業を依頼された場合、作業して良いものか」との質問について、ボランティア保険の対象になるか社会福祉協議会に確認した。ボランティア保険対象となる。脚立の高さ、高所作業等についての制限はなく、援農で必要な作業であれば保険対象との回答。
- ・名古屋農協の「Cityなごや」6月号に、なごやか農楽会の紹介記事が掲載される予定。

6月度会議(6月10日(土)開催)

- ・農楽会だより 原稿の検討 「農家さん紹介」が2023年11月で終了(16農家さん紹介済・紹介予定)紹介をしていない農家さんの意向を支部で確認することとする。
- ・農家さん紹介に代わる企画 以下内容を今後検討する。援農先農家さんで作っている野菜・果物等を使ったレシピ紹介、農業・農地に関する一般市民向け内容をシリーズシリーズで、JA各社の支所訪問し紹介、青空市等を行って行っている農家さんグループの紹介等
- ・ボランティアボランティア保険請求手続きについて川合さんから説明。請求の流れについて再再確認をした。
- ・その他HP運営委員会 企画チームメンバーとして会員から4名応募あり。事務局6名を加え、6月24日第1回打合せを行う。

7月度会議(7月8日(土)開催)

- ・農楽会だより 原稿の検討「農家さん紹介」追加で取材することとなった。「新企画」援農先農家さんで作っている野菜・果物等を使ったレシピ紹介会員、援農先農家等から情報収集、準備をお願いする。青空市等を行って行っている農家さんグループ等の紹介JA、農家から情報収集JA、農家から情報収集
- ・その他
- ・脚立使用などの高所作業への対応・脚立使用などの高所作業への対応「なごやか農楽会の約束事」に記載する。他の禁止事項(耕運機、裁断機等耕運機、裁断機等の取扱の取扱)も記載する。
- ・HP運営委員会第1回打合せ内容報告 スケジュールと内容決定(HP目的・対象)
- ・農業センターまつり 11月3～5日に規模を縮小して開催予定。農楽会も展示で参加。

援農作業予定 (9 ~ 11月)

てんぱく支部



休憩風景

9月
ニンジンの間引き

10月
サツマイモのつる切り・収穫

11月
タマネギ植付け、梅の剪定

みどり支部

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に
撮って下さい。支部長と相談の上。

9月
ポット土入れ作業
ブロッコリー畑土入れ
ブロッコリー苗定植

10月
JA朝市に出荷する野菜の袋詰め作業

11月
園児サツマイモ掘りの手伝い

援農作業予定 (9～11月)

もりやま支部



針金に巻きついたぶどうの蔓とり



もみから蒔き

9月
野菜収穫、草取り、畑整理、
ワイン用ぶどうの収穫、
カラス対策用ネット・ビニール外し

10月
野菜収穫、草取り、畑整理、
ぶどうの蔓切り・枝切り、カラス対策撤去、
堆肥・もみがら運び、ブルーベリー剪定

11月
野菜収穫、草取り、畑整理、
ぶどう蔓切り、誘引テープ外し、
もみがら蒔き、梅剪定

港・中川支部



柿の収穫



サツマイモ掘り支援

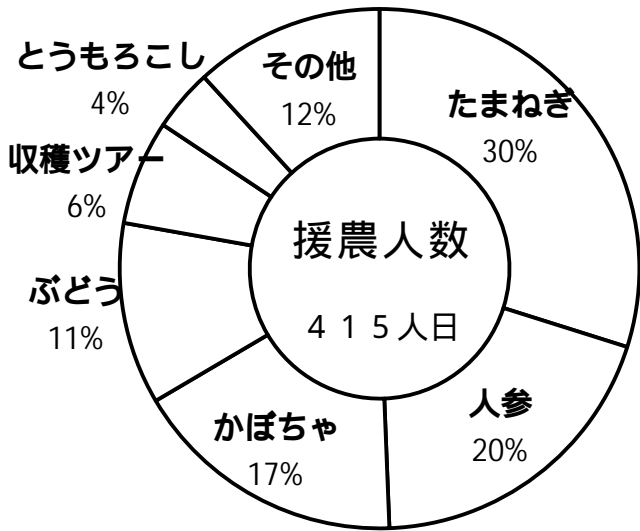
9月
播種(ブロッコリー、ハクサイ、キャベツ、タマネギ)、
定植(ブロッコリー、トウモロコシ)、
落花生収穫、サトイモ収穫・選別、
バターナッツカボチャ収穫・選別・洗浄、
ミツバ出荷調整、
野菜畑除草

10月
サツマイモ掘り体験手伝い、定植(ブロッコリー)、
播種(ハクサイ、キャベツ)、春菊間引き、柿収穫、
ミツバ出荷調整、野菜畑除草

11月
タマネギ定植、
野菜(ブロッコリー、カブ、ニンジン、サトイモ、
サツマイモ)の収穫・選別・袋詰め
野菜の直売補助、春菊間引き、
ミニトマト(わき芽取り、下葉切り)、
ミツバ出荷調整、野菜畑除草

援農作業実績 (5～7月)

てんぱく支部



1人日=1人1日3時間の援農作業

三か月間(5月～7月)の援農実績は、264人日。
累計(2月～7月)は415人日。
三か月間の援農先は、6農家。

援農作業は、玉葱収穫・皮ムキ・清掃分別
かぼちゃマルチめくり・ヘタ切り・洗い・箱詰め、
ぶどう花切り・玉抜き、収穫ツアー、
朝市手伝いなど

昨年同期(5月～7月)の援農実績 330人日
昨年の累計実績は、482人日

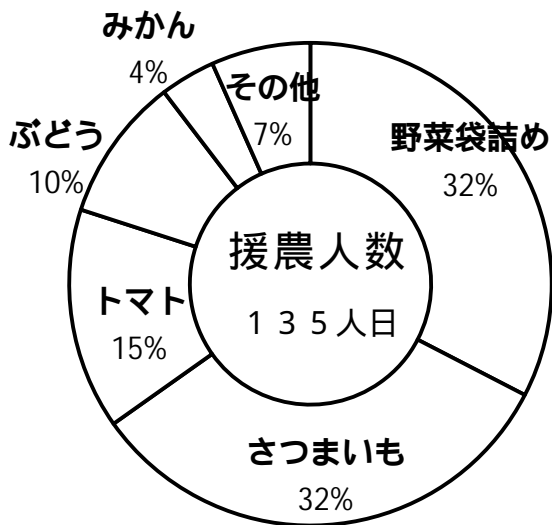


タマネギ収穫



ぶどう玉抜

みどり支部



1人日=1人1日2時間の援農作業

三か月間(5月～7月)の援農実績は、83人日。
累計(2～7月)は135人日。
三か月間の援農先農家は、4農家。

援農作業は、トマト片付け・枝伐採、
サツマイモ苗木植込み、野菜袋詰め、
ブドウ摘粒・袋掛け・花穂切り等

昨年同期(5月～7月)の援農実績 64人日
昨年の累計実績は75人日。

援農作業実績 (5～7月)

もりやま支部

三か月間(5月～7月)の援農実績は、166人日
 累計(2～7月)は286人日。
 三か月間の援農先農家は、3農家。

援農作業は、トマト下葉とり・収穫・袋詰め、
 ぶどう房作り・脇芽&つる切り・袋かけ・摘粒
 ブルーベリー収穫・水やり・ネット張り等

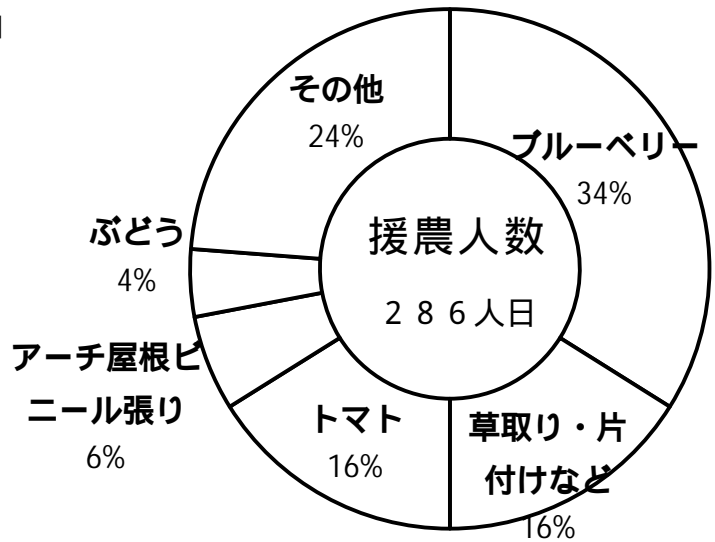
昨年同期(5月～7月)の援農実績 181人日
 昨年の累計実績は316人日



ハウス内クリップ外し



ブルーベリー定植



1人日=1人1日2時間の援農作業

港・中川支部

三か月間(5月～7月)の援農実績は、148人日。
 累計(2～7月)は302人日。
 三か月間の援農先農家は、5農家。

援農作業は、出荷用箱作り、ミツバ出荷調製
 トウモロコシ体験イベントの手伝い・草取り
 エダマメ葉取り・選別・袋詰め、
 トマト選別・脇芽とり・下葉とり

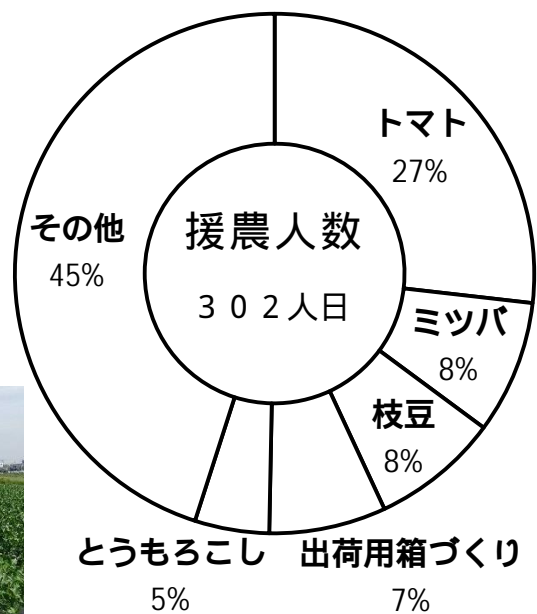
昨年同期(5月～7月)の援農実績 122人日
 昨年の累計実績は222人日



キュウリの網張



トウモロコシ畑除草



1人日=1人1日2又は3時間の援農作業

農家さん紹介

プロフィール

今回は、内木農園さんを訪問しました。管理者の熊崎秀雄さん夫妻にお話をうかがいました。2011年からお姉さんの嫁ぎ先の内木農園さんのお手伝いをしてきましたが、7年前にお姉さんがなくなり本格的に管理をするようになりました。豊田から1時間20分かけて通っています。

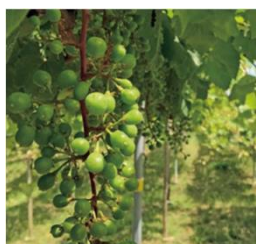


内木農園は、50年前に東谷山に入植しましたが、赤土で野菜作り、他の果樹には向かない土地だったのでブドウ園を始めました。当初は7軒あった農家も今は5軒に減っています。農地は4,000m²で80本を超えるブドウの木を育てています。種類は21種類あります。一般向けの巨峰、シャインマスカットをはじめワイン用のベリーAを育てています。専業農家ではないので手間のかからない樹種等を組み合わせて作っています。売れ筋の樹種への更新はゆっくり進めています。販売は、農園直売、宅急便による発送とワイン用が半々くらいです。2018年までは、幼稚園児のぶどう狩りを受け入れて農楽会の会員に応援していただいていたのですが、手間がかかるので今は行っていません。

ブドウの大まかな作業は、10月に牛糞・堆肥で土壌の準備、1月に剪定、3月に芽欠き、5月にジベレリン処理、6月粒抜き、袋掛け、8月中旬から10月初めまで販売をします。土日のみぶどう狩りを受け入れています。年々温暖化が進んでいて昨年は9月に終了しました。ブドウは野菜と違い結実するまでに3-5年掛かりますので樹種の入替えをしても効果が出るのには時間がかかります。

ウクライナ問題で肥料（カリウム）が倍の価格となってコスト上がっています。高齢化で木の植え替えが進んでいないことが次世代への課題となっています。

農楽会に、援農依頼して10数年になります。8月を除き毎月第2、第4月曜日が集中日で、粒抜き、袋掛け、ビニールはずし、肥料まき、草刈り等援農いただいで大変助かっています。これからもよろしくお願ひしたい。



はじめよう！ 家庭菜園(*1)

今月号は土寄せについて紹介します。

土寄せとは、鍬などを用いて土を株元に寄せる作業のこと。

風雨や水やりなどによって株元の土が少なくなると根が露出し、直射日光や寒気にさらされて弱ってしまうので、露出した根を覆う土寄せは欠かせません。

1. 土寄せのやり方って？



鍬などを使って、周囲から株元へ軽く土を寄せましょう。



幼苗への土寄せは双葉が埋もれないように「移植ごて」などを使って丁寧に行いましょう。

2. 野菜別の土寄せ方法って？

- ・ジャガイモ
土寄せが足りないと、イモの表面がかたくなってしまいます。生育に合わせて土寄せを行い、畝をたてていきましょう。
- ・サトイモ
土寄せが足りないとイモの肥大が悪くなり、良いイモになりません。子イモができるころに追肥と土寄せを行って畝をたてましょう。
- ・落花生
花後に伸びる子房柄が土の中に入りやすいよう、土寄せをしましょう。
- ・ネギ
一気に土を埋めてしまうと生育不良を起こし良いネギになりません。生育に合わせて少しずつ高畝にしていきましょう。

3. 土寄せのメリットって？

- ・株の倒伏を防ぐ
- ・根菜類の地下部が露出して色付くのを防ぐ
- ・雑草の発生を防ぐ
- ・低くなった畝を高くすることで排水性を高める

4. 土寄せの注意点って？

土寄せは土の湿り具合が適度なときに行います。雨上がりで土が湿っている際に耕すと土をこねてしまい、かえって土がかたくなってしまいうため逆効果です。その一方で雨がしばらく降らず、土が乾いている場合に耕すのもやめましょう。土寄せをすると根が少し切れますが土が乾いていると根が再生せず野菜の生育を妨げてしまうので注意が必要です。



(*1) はじめよう家庭菜園は、なごや農業協同組合様が発行されるCITYなごやに掲載されています。なごや農業協同組合様のご承諾を得て、掲載しています。

あいちの伝統野菜

今月号は冬瓜（トウガン）です。

トウガンは、インドの原産。中国では三世紀前半に華南、華中を経て華北に入り、古くから栽培されていたとみられます。

齊民要術（注）には耕種法などが述べられています。

煮食が主であるが冬瓜蒸し、砂糖漬け、味噌漬などいろいろの料理に用いられていたようです。

ヨーロッパには16世紀、アメリカには19世紀に伝わったが普及せず、

現在でもほとんど栽培がなく、トウガンは東洋特産の野菜といえます。

わが国には仁徳天皇の時代（4世紀後半ごろ）に朝鮮から伝わったと言われています。

本草和名には白冬瓜、一名冬瓜、和名加毛宇利と記され、和名抄、延喜式にも醬漬にしたことが書かれています。

第二次世界大戦後栽培は減少し、現在は沖縄、愛知、神奈川で全体の60%程を占めています。

（注）齊民要術（せいみんようじゅつ）

華北の農業・牧畜・衣食住技術に関する総合的農書。

92編、全10巻。成立は、6世紀中頃。

世界農学史上最も早い農業専門書であり、中国に現存する最古で最も完全な農書である。



早生（わせ）とうがん

県内全域で栽培。
果実は熟すると表面に白い粉を吹き、最大でも3kg程度である。



次号はふきを紹介します

トウガンは収穫後涼しい場所におくと翌年の3～4月まで貯蔵でき、この点から冬瓜、寒瓜の名が生まれました。

トウガンはトウガから訛ったもので関東地方などでトウガンと呼んだため、いつの間にかトウガンが正式の名称になってしまいました。

トウガンは味が淡泊でみそ汁の実やあんかけ、三杯酢などにし食べることが多く、また肉詰めにも用い砂糖漬けにしたものは冬瓜糖として薬用にもされています。

果実は大形で暗緑色になる品種は名前のように冬期に利用されるが、最近では小形で早生の品種を春先に出荷することが多いです。

愛知県の出荷量は全国の20%以上を占め、全国2位の出荷量を誇っています。

早生（わせ）とうがんが、愛知の伝統野菜に選ばれています。

参考文献

日本のふるさと野菜（一般社団法人日本種苗協会発行）

日本の野菜文化史事典（青葉高著 八坂書房2013）

愛知県園芸発達史（愛知県園芸発達史編さん会）

あいち在来種保存会・「あいちの伝統野菜」畑から（ブログ）

愛知県HP愛・地産・アラカルト 農業水産局農政部園芸農産課

写真：あいち在来種保存会・「あいちの伝統野菜」畑から（ブログ）

編集後記

コロナも5類に移行しマスクの着用は個人判断になりました。暑さもありマスクの着用しない人が増えるなどコロナについては日常が戻ってきています。研修会も普通に実施できるようになりました。皆様の参加をお待ちします。地球温暖化により36度を超える日が続いていて9月に入っても30度を超える日が続く予想です。援農される時は、帽子、休憩、水分を十分とるなど熱中症対策に心して援農に取り組んでいきましょう。

発行

なごやか農楽会事務局

（水野・佐藤） 令和5年8月25日発行

なごやか農楽会は、名古屋市内の農家のお手伝いを主な活動とする農業ボランティアグループ。

会員は、全て農業ボランティア育成講座修了生です。